



## 2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月12日  
上場取引所 東

上場会社名 大黒天物産株式会社  
 コード番号 2791 URL <http://www.e-dkt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企業戦略室長 (氏名) 川田 知博 TEL 086-435-1100  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第3四半期の連結業績（2020年6月1日～2021年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	167,156	9.5	7,061	117.9	7,270	112.5	4,547	121.5
2020年5月期第3四半期	152,644	13.1	3,241	53.4	3,421	53.2	2,052	216.8

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 4,567百万円 (119.7%) 2020年5月期第3四半期 2,079百万円 (224.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	326.45	—
2020年5月期第3四半期	146.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	70,071	40,523	57.6
2020年5月期	73,489	36,331	49.3

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 40,381百万円 2020年5月期 36,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2021年5月期	—	0.00	—		
2021年5月期（予想）				27.00	27.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,705	2.7	7,453	25.6	7,698	25.2	4,601	23.2	330.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年5月期3Q	14,474,200株	2020年5月期	14,474,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年5月期3Q	545,320株	2020年5月期	545,320株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年5月期3Q	13,928,880株	2020年5月期3Q	13,974,490株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、社会活動・経済活動が大きく制限されるなか、企業収益の悪化、個人消費の減退、入国制限による訪日外国人の減少に伴うインバウンド需要の減退など、極めて厳しい環境が続いております。また、2021年1月には緊急事態宣言が再発出されるなど、先行き不透明な状況が依然として継続しております。

小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限、生活防衛意識の高まりによる節約志向の上昇など、厳しい状況が続く一方で、食品小売業においては、外食控えなどにより、家庭内消費の需要は堅調に推移しております。また、家計の先行き不透明感により、消費者の購買行動における低価格への期待は、一層高まる状況となりました。

このような環境の中、当社グループでは、「魅力ある店づくり6項目」（①価格、②品質、③売場、④活気、⑤環境整備、⑥接客）の徹底をスローガンに、お客様にご支持いただける小売業を目指して取り組んでおります。また、お客様に「安くて新鮮で美味しい商品」を提供するべく、ESLP（エブリデイ・セーム・ロープライス）による地域最安値価格を目指すことに加え、自社開発商品の中身を徹底的に「アナライズ」（分析）し改良を重ねた、「高品質・低価格」なラインナップを前面に打ち出して展開しております。さらに成長戦略として、岡山県に小型店1店舗の新規出店と、生鮮売場を強化した大幅改装を4店舗で実施いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,671億5千6百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益は72億7千万円（前年同期比112.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億4千7百万円（前年同期比121.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、171億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億9千万円減少いたしました。その主たる変動要因は、現金及び預金の減少（74億4千6百万円から61億円へ13億4千6百万円減少）、商品及び製品の減少（59億7千万円から58億3千6百万円へ1億3千4百万円減少）、その他の流動資産の減少（54億4千8百万円から48億4千6百万円へ6億2百万円減少）などによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、529億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億2千7百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、有形固定資産の減少（414億4千3百万円から403億3千2百万円へ11億1千万円減少）、投資その他の資産の減少（124億1千1百万円から123億3百万円へ1億7百万円減少）などによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、233億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億5千6百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、賞与引当金の増加（4億8千4百万円から6億1千万円へ1億2千6百万円増加）などに対し、支払手形及び買掛金の減少（149億8千8百万円から116億5千1百万円へ33億3千6百万円減少）、短期借入金の減少（37億9千3百万円から35億9千5百万円へ1億9千7百万円減少）、未払法人税等の減少（20億4千8百万円から17億2千3百万円へ3億2千5百万円減少）、その他の流動負債の減少（78億8千4百万円から57億6千1百万円へ21億2千3百万円減少）によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、61億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億5千3百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、長期借入金の減少（31億1千2百万円から13億6千4百万円へ17億4千7百万円減少）などによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、405億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億9千2百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の増加（335億5千3百万円から377億2千4百万円へ41億7千1百万円増加）などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期通期の業績予想につきましては、計画を上回る水準で推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であることなどから、連結、個別ともに2021年1月7日公表の業績予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,446	6,100
受取手形及び売掛金	110	50
商品及び製品	5,970	5,836
仕掛品	171	149
原材料及び貯蔵品	351	326
その他	5,448	4,846
貸倒引当金	△203	△203
流動資産合計	19,296	17,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,712	24,973
土地	7,944	8,086
その他(純額)	6,785	7,273
有形固定資産合計	41,443	40,332
無形固定資産		
	338	329
投資その他の資産		
建設協力金	1,814	1,709
差入保証金	4,825	4,835
その他	5,855	5,814
貸倒引当金	△84	△55
投資その他の資産合計	12,411	12,303
固定資産合計	54,193	52,965
資産合計	73,489	70,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,988	11,651
短期借入金	3,793	3,595
未払法人税等	2,048	1,723
賞与引当金	484	610
資産除去債務	6	6
その他	7,884	5,761
流動負債合計	29,206	23,349
固定負債		
長期借入金	3,112	1,364
退職給付に係る負債	41	43
資産除去債務	2,730	2,802
その他	2,067	1,987
固定負債合計	7,951	6,198
負債合計	37,157	29,547
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	1,823	1,823
利益剰余金	33,553	37,724
自己株式	△880	△880
株主資本合計	36,157	40,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	52
その他の包括利益累計額合計	39	52
新株予約権	42	43
非支配株主持分	91	99
純資産合計	36,331	40,523
負債純資産合計	73,489	70,071

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
売上高	152,644	167,156
売上原価	117,310	126,940
売上総利益	35,334	40,216
販売費及び一般管理費	32,093	33,154
営業利益	3,241	7,061
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	2	2
受取賃貸料	68	65
受取保険金	74	105
貸倒引当金戻入額	—	27
その他	81	45
営業外収益合計	250	269
営業外費用		
支払利息	27	18
賃貸費用	40	37
その他	3	5
営業外費用合計	70	61
経常利益	3,421	7,270
特別利益		
固定資産売却益	67	—
補助金収入	18	35
特別利益合計	86	35
特別損失		
固定資産売却損	24	—
固定資産圧縮損	18	35
特別損失合計	42	35
税金等調整前四半期純利益	3,464	7,270
法人税、住民税及び事業税	1,522	2,890
法人税等調整額	△116	△175
法人税等合計	1,405	2,714
四半期純利益	2,059	4,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,052	4,547

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	2,059	4,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	12
その他の包括利益合計	20	12
四半期包括利益	2,079	4,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,072	4,559
非支配株主に係る四半期包括利益	6	8



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

1. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

2. 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。